

日刊 CARGO

物流総合紙

Daily CARGO Transport & Logistics News

2010年(平成22年)

7月7日

水曜日

第9949号

月曜～金曜発行(祝日を除く)

購読料: 1カ月8,400円(税込)

(昭和44年9月30日 第三種郵便物認可)

<http://www.daily-cargo.com/>

エイエルパレット

次世代型超軽量アルミパレット

日本でも販売



航空運賃を削減
積載効率の向上
導入コスト安価

韓国のアルミパレットメーカーALPALLET(=エイエルパレット、本社=韓国安城市)製の「次世代型超軽量アルミニウムパレット」=写真=の販売が、今月から日本でも開始された。同パレットは、従来のアルミパレットに比べて大幅な軽量化に成功しており、航空貨物運賃の削減や積載効率の向上、パレットの導入コスト削減が

可能。既に先行販売している韓国や米国では、サムスン、LG、デルなどが航空貨物輸送で採用しているという。

同パレットには、使い捨て型、再利用型、ボックス型などさまざまなタイプがあり今後、日本のメーカーや航空フォワーダーなど物流企業を対象に供給する。日本での販売は、同社の日本販売総代理店、エイエルパレットジャパンが担当。

同パレットは、韓国はじめ米国や日本などで特許を取得済みの独自技術を用いることで、従来のアルミパレットに比べて1枚あたり5～15%の軽量化に成功。航空運賃削減や積載効率向上を図れるほか、従来パレットと同等の強度を維持できる。

軽量化でアルミニウムの使用量を大幅に削減したため、パレット1枚当たりの価格は従来品の半額程度に。アルミパレットは、木製や樹脂パレットに比べて価格が割高な点がネックだったが、同パレットでは導入コストを大幅に抑えた。アルミパレットは耐用年数が高く、使用後に再資源化できるなど、環境負荷低減にも効果があるという。

韓国では、LG電子やサムスン電子が製品・半製品の航空貨物輸送で使い捨て型パレットを導入。航空運賃の大幅削減に成功している。米国では、デルがアジア拠点と各国間の製品や部品の航空貨物輸送に活用するほか、コカ・コーラが飲料工場と物流センター間の横持ち輸送で同製品の導入実験を進めている。